



歌詞の中の指標比喩「という」と「という名の」

メタデータ	言語: jpn 出版者: 宮崎大学教育文化学部 公開日: 2020-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 塚本, 泰造 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10458/5816

歌詞の中の指標比喩「という」と「という名の」

塚本泰造

Survey and Analysis of “To-iu” and “To-iu-na-no” as Simile in Popular Japanese Song Lyrics

Taizo TSUKAMOTO

はじめに

本研究では、複合辞¹⁾「という」の指標比喩²⁾としての用法を考察の対象とします。

たとえば、国語の教科書に見られる、次のような例がよく知られているものでしょう。ヘッセの「少年の日の思い出」の一節からです。

この少年は、非の打ちどころがないという悪徳をもっていた。(『国語1』光村図書 p.183より。下線は論者)

比喩表現とは、文学だけでなく、普段の言葉にも潜む(机の脚、電流が流れる、虫酸が走る、月見うどん、高い声など)もので、人間の認知の在り方を反映しています。それでは、上の用例の「完璧さ」と「悪徳」の結びつけを、どのように説明できるのでしょうか。中学生たちを前にして、人生経験に訴えて解きほぐすのは得策ではないでしょう。

国語辞書や複合辞の用例集³⁾では、多く「同格をあらわす」とすることが多いようです。しかし、言葉の順序を入れ替えた、「完璧さという悪徳」と「悪徳という完璧さ」とが等しい意味を持つとは言にくいでしょう。「同一」ではないとしたら、その「格」とは何か、具体的に掘り下げる余地があります。

そこで本稿では、指標比喩「という」が豊富に採集できる歌詞をデータとし、同じ指標比喩で近接の一つ「という名の」⁴⁾との使用状況を比較して、以下に述べる3つの観点から先行研究を補うことをねらいとします。

1. 先行研究を補う3つの観点

1-1

「という」は常に比喩を担うものではありません。「国語学Iという授業」「いつも携帯しているというストップウォッチ」「性格がきついという噂」「とうとうやって来ましたよという知

らせ」など、「という」の用法は多岐にわたります。したがって、指標比喩としての「という」に迫るには、比喩性を帯びやすい形式に絞り込む必要があります。

本稿では、「XというY」において、X・Yともに語相当のものを採集の対象とします（「語相当」の処置については後述）。形式を限定することによって、XとYそれぞれの語の対比から、比喩性が判断しやすいと考えられるからです。逆に言えば、まず形式で範囲を限定して、その用例群の中で、明らかに比喩表現であるものから、比喩ともそうでないとも言えるもの、そして全く比喩でないものまでを抽出することになります。

1-2

「という」の全用法のうち、比喩にも繋がる意味で、この形式について積極的な言及がある論考には、管見では石垣謙二(1945)⁵⁾・金水 敏(1986)・丹羽哲也(1993)・太田陽子(2000)・藤田保幸(2000)⁶⁾・益岡隆志(2002)⁷⁾があげられます。これらのうち、丹羽哲也(1993)が「という名の」の考察も含めた唯一のものであります。また、藤田保幸(2000)には統語的引用の観点から、引用構文には発話・思考行為の再現である「行為としてのコトバの引用」の他に、「モノとしてのコトバを引く引用」があるという貴重な指摘があります(pp.114-127)。

しかし、指標比喩の「という」について正面から取り上げて深く考察がなされているのは、多門氏の一連の論考と言えます(多門靖容2004・2005・2014)。

これらの先行研究に対して本研究が補う点は以下の3つです。

1-3

まず、データのジャンルを広げることです。

先行研究では、「という」のデータが主に散文(小説、新聞記事、教科書など)である点で共通しており、「という」の比喩としての用法が正面から取り上げられなかった一因かと思われます。多門(2014)は主に書名をデータとした考察です。比喩の用例を豊富に採集するには、書名よりも制約が弱く、かつ比喩が多く見受けられると予想できるジャンルを他に求めて補う必要があります。

また、「比喩が成立する条件を言語的な性格の面に本格的に探るとなると、膨大な資料を駆使した綿密な研究の成果を待たねばならないだろう。」(国立国語研究所(中村明)(1977) p.28)というのは確かですが、その「膨大な資料」については、現在コーパス等で容易に採集できません。

本稿では、後述するように、歌詞のコーパスサイトから比喩「という」の用例を悉皆的に大量に集めることができました⁸⁾。

1-4

次に、比喩用法の典型を数量的に確かに求めることです。

比喩について考察する場合、その考察の土台となる例が典型であるかどうか、特殊な、あるいは周辺の比喩の用例でないかどうか確認しなければなりません。「という」が比喩専用の言語形式ではないことがわかっていますから、「という」が自由に、満遍なく語と語を結びつけて比喩表現を生みだしているとは限らないからです。

多門(2014)では、「松井という怪物」を出発点として、措定文「松井は怪物だ」と言いかえ

られる事実をもとに、隠喩（ほぼ比喩に近い意味）とは要素「松井」を、直接、事実の上で所属していない、別のカテゴリに所属させる行為であると主張しています（pp.2-7）。しかしこの松井は固有名詞ですから、もともと孤立した要素でもあるわけです。さらに(1) a b の用例に示したように、固有名詞がXに位置したときに、「とかいう」も可能である一方、代名詞「君」に「という」は付き得ても「とかいう」が不自然であることから、「固有名詞というY」を指標比喩「という」の典型にできるか微妙なところがあります。

- (1) a 松井とかいう怪物
b ? 君とかいう怪物

さて、多くの人が発想しやすい比喩こそ典型だと考えられます。ありふれた比喩表現、つまり「という」を介した、固定化されつつある、語と語の結びつきの存在を確かめなくてはなりません。その事実は、結びつき方の傾向として、数量的に把握できると考えられます。

後述するように、歌詞の中では、「という名の」と異なって、「という」には語と語の結びつき方にかなり偏った分布が見られました。

また、語と語の結びつき「XというY」については、先行研究では、大きく「具体（固有名詞も含め）・という・抽象あるいは範疇」（丹羽1993・太田2000・藤田2000・益岡2002）が意味構造であり、また「XはYの部分集合」である（金水1986）とも指摘されています。いわばYの方の意味の領域が広いわけですが、これが指標比喩の表現「XというY」の典型にあてはまるかどうかとも検証しなくてはなりません。

たとえば、

- (2) a 欲望という名の電車
b 欲望という電車

これらは「抽象・という（名の）・具体」ですが、さて、指標比喩の表現として特殊かどうか？ また、歌詞において抽象的な「愛」「恋」を何かに喩えることは、容易に想定できます。

1 - 5

3つめに、似た意味の指標比喩の複合辞と比較することがあげられます。

これまで、「という」の文法上の働きを解き明かすために、「という」が類似した複合辞「との」や「といった」と置換できるかというアプローチが採られてきました。本稿では、さらに、指標比喩としての「という」に対し、国立国語研究所（中村明）（1977）にあげられた、類似の複合辞「という名の」との実際の使用状況を比べます。

この複合辞「という名の」について、丹羽（1993）では、以下の2つの例文、

「この猫には「たま」という名前が似合っている。」「表向きには秘書という名の権力者であった。」

に対して、

「この猫は名前をたまという」「この権力者は（表向きの）名を秘書という」という関係が連体化したものである。Yに相当するのは「この猫」「権力者」であるが、「Xという名前」そのものは対象に対する名前の同定という関係を示しておらず、単にXが名前であることを示している。

と述べ、「という」と「という名の」との次元の違いを指摘しています。もっとも、一方で用例「そして、ついに西武商法は池袋、渋谷という周縁から銀座という中心への進出を果たすのである。」に対して、「これを「銀座という名の中心」と言い換えることができる」とも述べています。

本稿では、まず歌詞における実際の使用状況から違いを指摘したいと思います。

2. 調査対象

2-1

本研究が調査対象としたのは、歌詞のコーパスサイトと見なせる「うたネット」(<http://www.uta-net.com>)です。その歌詞全文検索を使って「という」「という名の」データを採集しました。執筆時でおよそ19万曲の歌詞を収納し、新譜等歌詞データを増補し続けているものです⁹⁾。

まず、歌詞を比喻指標のデータとして選んだ理由は以下の3点です。

- ・歌詞の方が小説などと比べて文脈が把握しやすい。
- ・現代詩などに見られるような詩的用法への極端な偏りもない。したがって、日常の比喻表現の豊富なありかとして格好のものと見なせる。
- ・現代語を反映している代表の一つといえる。

コーパスサイトを使う利点として、

- ・悉皆的に歌詞に見られる現代語の用法を採集できる。
- ・ヒット曲のみをピックアップしてデータを採集するよりも偏りが少なくなる。いわゆるB面やアルバム収録曲、隠れた名曲なども対象に含める方がより実際の使用法に近くなる。ある作詞家のデータに偏ることも解消できる。
- ・歌のジャンルの偏りも是正できる。

があげられます。

検索は2013年8月31日に行いました。検索する語は「という」に限りしました。「と言う」の場合、漢字表記「言う」に本動詞としての意味が含まれている可能性がありますので、これは対象としませんでした。その結果、6683曲がヒットしました。

さらに、以下の手続きを行い、データを整理しました。

- ・カバー曲、セルフカバー曲は除く。
- ・文字列のみ一致するもの、助動詞・助詞が後続するものは除く（「何という」「というには」「というから」「というべき」など）。
- ・慣用句的な「という」（「あつという間」・「いざという時」・「ここぞという時」など）は除く。表記の違い（「アツという間」など）は無視し、同様に除く。
- ・形式名詞相当の「わけ」・「気」・「ふう」が後続するものは除く。
- ・文を受けている「という」は除く。

その結果、複合辞「という」「という名」を含む4150曲が抽出できました（重複曲含む）。内訳は、「という」を含む曲が3185曲、「という名の」及び類似した指標比喻¹⁰⁾を含む曲が965曲です¹¹⁾。

2-2

本稿が検索対象とするのは、「XというY」のX・Yに、語相当のことばが入る形式です。

「語相当」としているのは、いわゆる単語以外に、以下のものも「語」に含めたからです。

①連体修飾語を含む名詞句は、厳密には、その名詞句まるごとが「という」で結びつくものだけれども、結局はその名詞の「一種」として対象となっているものと見なす。たとえば、(以下、歌詞の用例は、曲名・アーティスト名・歌詞の該当箇所の順で掲げる)

独り言 Aqua Timez

遥かなるディスタンスを猛スピードで走るイメージポエットマシン 太古の昔から生き抜いてきた音という存在と対面旋律が言葉を連れて ビートに出逢う

3.11。 ハジ→

僕に できることがあるとすればそれは あなたを忘れずに 生きてゆくこと 僕らが今 生きている今日という日は 彼らが生きたかった 今日

では「太古の昔から生き抜いてきた音」を「音」、「僕らが今 生きている今日」を「今日」と見なすということです。

②助動詞のついた「文節」相当も「語」に含める。

特に「愛する」などは、補助動詞や受身や否定の助動詞などが付いたまま一語相当の扱いを受けています。たとえば、

雲レ日 19

愛されてるという確かな安心がそこになら 愛することが出来ないくらい小さな器しかないの?

SUNSHINE ON MY HEART 白石蔵ノ介(細谷佳正)

言葉は文字じゃない 言霊は生き様 HEY YOU! 最大の敵はできないという自分的偏見 HEY YOU! GIVE US A CHANCE TO SEE THE LIGHT

世界点 nano. RIPE

ほくはいつでもそばにいるよ あ・い・た・い、という せ・つ・な・い、言葉をいまそよ風が運んでくれた気がするよ

これらはそれぞれ「愛する」「できる」「あう」と見なしました。もちろん用言がXに位置しているのでそれだけで文と見なせる可能性があります、「とつぶやく」「と考える」「と言う」などの思考・発話の動詞が共起する場合にのみ、文と見なしています。「気持ち」が共起した場合など、解釈が微妙な用例も当然ありますが、Xに位置する名詞と比べれば数的には大勢に影響ありません。

したがって、以下の例ではX=愛する、Y=言葉、となります。

ハリネズミだって恋をする 中島みゆき

こんな時には、こんな歌が似合う 自分の今想う気持ちを口ずさめ 愛してるという素敵に

響く言葉が未来にいる自分をきっと今の何倍も大きく優しくさせてくれるのかも知れない

- ③「ありがとう」などの連語も②と同様に、「語」扱いとする。思考・発話行為が共起した場合も②と同様です。

マジありがとう feat. 吉見一星 LGYankees

ありがとうという気持ちくれたあなたに ありがとうと 思わせてくれたあなたに ずっと
ずっと これからも 笑顔で元気
くださいね

Still Blowing SPEED

あなたを忘れられない 失ったあとにいつも知るの それを失いたくないこと “当たり前
前”という気持ちの隙で弱くなること 泣きたいわけじゃなく 隣りが少しだけ ただ少し
その広さに慣れてないだけ 二人

- ④特殊なケースとして「好き」があげられます。本来、「好き」は連体形「好きな」を取り得るので、形容動詞と見なすのが普通です。ところが、実際の歌詞の用例を見てみると「好き」が名詞で「だ」が助動詞（あるいは判定詞）と見なして処理しなくてはならない例があるようです。「好きだ」とあれば、明確に文として用例から除くことができますが、「好き」について単に「だ」を省略されたものと言えない点があります。歌詞の場合、「気持ち」や「感情」と結びついた場合には、文とも語（その言葉の意味をかみしめるの意）とも判断しにくいからです。数的には大きく上位に来ることはありません。

綺麗になりたくて ゴールデンボンバー

本当の好きという事はもしかしたら体が欲しい事なのかもしれない 現に僕は取り返しの
つかないほど好きになってしまっていて

ずっとそばに BAKI

時間や経験 生まれた場所 何もかもが違う二人 出逢えた 芽生えた好きという感情 ずっ
と一緒寄り添ってたいよ

以下のように、類例として「幸せ」も含まれるでしょう。

ジュンブライダー ポルノグラフィティ

華やいだ人の祝福に包まれて 胸に募る 「幸せ」というこの想い 僕ら二人は巡り合えた 自
分以上に大切なもの

さて、こうした処理によってどのような「XというY」「Xという名のY」が見られたでしょう
か。

3. 調査結果から典型をさぐる

3-1

指標比喩の複合辞「という」「という名の」において、それぞれどのような語がXに位置しているかを表1および2に示します。

表1 「XというY」のXに位置する語 (上位15)

語	曲数
今日	379
愛	205
君	195
今	104
あなた	92
明日	82
生きる	62
永遠	62
希望	61
恋	57
好き	54
私	52
人生	47
夢	45
孤独	41

表2 「Xという名のY」のXに位置する語 (上位15)

語	使用数
愛	119
希望	63
夢	47
自由	39
君	30
恋	27
人生	21
明日	20
孤独	20
永遠	17
欲望	14
あなた	12
勇気	12
運命	11
現実	11

「XというY」のXに位置する語は異なり語641語、「Xという名のY」では296語でした。

この結果から、「XというY」を含む曲が10曲もあれば1曲は「今日という～」を含むということ、同様に「Xという名のY」を含む曲が10曲あれば「愛という名の～」を含む曲が1曲はあるということになります。

Xは比喩の対象として選ばれる候補ということになりますが、これらを似通った語同士でまとめると、「という」「という名の」の共通点と相違点が明らかになります。

・「という」 今日 今 明日 永遠
 愛 希望 恋 好き 夢
 君 あなた 私
 生きる 人生
 孤独

・「という名の」 明日 永遠
 愛 希望 夢 自由 恋 欲望 勇気 現実
 君 あなた
 人生 運命
 孤独

つまり、愛や恋や相手を対象とする傾向は同じなのですが、「という」に「今日」「今」が見られるように、大きな違いとしては、数量的にも、複合辞「という」の方が「今ここ」を中心とする傾向が強いということです。

そして具体的なものとなると、「君」「あなた」ぐらいしか数えられないようです。しかもダイクシスですので、その具体性は話し手次第となります。

歌詞において「という」で捉えやすいものは、やや前方照応型の、話し手から見た、相手を含む時空間ということになります。

では、さらに具体的にそれぞれの複合辞は、どのようにYに結びついているのでしょうか。

3-2

「Xという～」「Xという名の～」において、Xに位置する語のうち、使用曲数の多い上位6語がそれぞれどのような語Yをとるかを表3、4、5に示します。

表3. 1～3は上位6語のうち、「という」「という名の」両方に見られるXで整理した結果です。2曲以上の結びつきがあるものを表に示しています。「君」とほぼ同じ語彙の「あなた」も含めています。

この結果から、

- ・複合辞「という名の」は固定した結びつきが少ない。「という名のもと」を慣用句として熟したものとすると、ほとんど典型がなくなります。逆に言えば、「という名の」の方が、臨時的であるにせよ、比喩表現を自由に生みだしていることとなります。

たとえば、「愛という名の～」で1曲のみのYは以下のような語句です。

憧れ／足音／意志／Ideology／絆の糸／群衆の息吹／Illumination／嘘つきさん／打ち上げ花火／海／運命／永遠／エゴイスト／オアシス／丘／贈りもの／斧／お守り／おやつ／あたたかい心の鍵／舵／形見の品／記憶／新しい絆／もろい気持ち／偶像崇拜主義／剣／心／甘い言霊／小箱／コンパス／SCIENCE／坂／サナギ／淋しさ／ジェラシー／かけがえない瞬間／情熱／深海／正義／星座／聖戦／宝／戦い／旅／こわれそうな誓い／Democracy／痛いほどのときめき／荷物／バーチャ・ゲーム／Perfect World／橋／白い羽／毒入りHONEY／パズルのピース／翡翠／ピストル／日々／二人／プログラム／ベッド／帆／宝石／誇り／魔物／矛盾／虚しさ／目隠し／Message／メロディー／目的地／もくろみ／勇気／夜汽車／理想／ルール／疑惑・誘惑／もとで

同様に「君という名の～」では、

あたたかさ／痛み／愛しさ／糧／哀しみ／紛れも無い現実／このstory／遠い空／太陽／翼／手錠／Twilight／ボール／僕／星／魔法／道／ムービー／迷路／メリーゴーランド／すべての要素

- ・それに対して「という」には典型が見受けられます。特に「君という光」は明白に比喩表現でしょう。

愛という言葉（・字・文字）

君という光 君という存在

- ・また、以上の結果からすれば、「具体・という（名の）・抽象もしくは範疇」にあてはまらない結びつきを含んでいます。特に「という名の」の方がその傾向が強いです。

表3-1 「愛というY」(2曲以上)

	Y	使用曲数
愛 という	言葉	37
	字	12
	もの	10
	光	7
	文字	7
	花	5
	こと	4
	ちから	4
	名	4
	奇跡	3
	夢	3
	愛	2
	意味	2
	輝き	2
	傘	2
	果実	2
	形	2
	窮屈	2
	クスリ	2
	憎悪	2
タカラモノ	2	
魔法	2	
水	2	
約束事	2	

表3-3 「君というY」(2曲以上)

	Y	使用曲数
君 という	光	35
	存在	25
	人	11
	花	10
	奇跡	7
	空	6
	未来	4
	愛	4
	宝物	3
	太陽	3
	幸せ	2
	夢	2
	星	2
	ほく	2
	プレゼント	2
	一人	2
	ぬくもり	2
	力	2
	絆	2
	形	2
輝き	2	

表3-2 「愛」という名のY(2曲以上)

	Y	使用曲数
愛 という名の	下	16
	花	6
	輝き	2
	翼	2
	罪	2
	ぬくもり	2
	服	2
	魔法	2
幻	2	

表3-4 「君という名のY」(2曲以上)

	Y	使用曲数
君 という名の	花	5
	奇跡	2
	光	2

表3-5 「あなたというY」(2曲以上)

	Y	使用曲数
あなた という	光	13
	ひと	10
	奇跡	6
	存在	5
	愛	3
	花	3
	星	3
	駅	2
	輝き	2
	幸せ	2
	一人	2
	道	2

表4には「という名の～」の残りの上位語の結びつきを示しています。これらの中には「抽象・という名の・具体」という比喩が半数は見られます。

表4 「希望という名のY」（2曲以上）

	Y	使用曲数
希望 という名の	光	8
	荷物	4
	明日	2
	力	2
	翼	2
	花	2
	未来	2
	夜汽車	2

同様に1曲のみ結びついた語句を示すと、
希望という名の～

曖昧さ／生きる証／小さなあかり／朝日／あなた／
笑顔／獲物／輝き／傘／かじ／汽車／喫茶店／白い
雲／重いコート／最終列車／幸せ／シトリン／絨毯
／旋律（しらべ）／スパイス／裏側の絶望／太陽／
弾丸／チケット／地図／蝶々／月見草／電車／通り
／この都会／Dream Station／のぞみ坂／橋／バス／
羽根／船／プラネタリウム／星／道

夢という名の～

PreciousなStone／New day／あの女／ウサギ／嘘／
落し物／男の身勝手／落し物／終わらない戦道／女
の人生（みち）／怪物（ケダモノ）／輝き／荒野／
子供たち／コンパス／最後のチカラ／さがしもの／
章／旅路の果て／蝶たち／翼／灯／虹／荷物／
ニュース／願い／根っこ／別々の道／身勝手／メ
ニュー／花咲く日／荷車／酒／舟／女の人／星屑／
帆／儚なさ／自分／武器／翼

自由という名の～

青空／アメリカ化／言い訳／栄光／おもちゃ箱／籠
／傘／風向き／風／鎖／拘束／幸福／荒野／お酒／

表4 「夢という名のY」（2曲以上）

	Y	使用曲数
夢 という名の	刀	2
	旅	2
	荒野	2

表4 「自由という名のY」（2曲以上）

	Y	使用曲数
自由 という名の	孤独	4
	翼	2

運命（さだめ）／厄介な時間／呪縛／明日への旅／孤独な旅／地図／鳥籠／砦／Dress／つく
場所／光放つパレット／ブランド／☆／魔法／この迷い風／迷路／強い夢／危ない欲望／留
置

「という」との差は「名」を介しているかどうかかなわけですから、こうした「名」をもつものとして、具体的な事物はもちろん、「愛」や「恋」「夢」などの形而上の、無輪郭のものまでも把握できるならば、容易に比喩にしやすいことが分かります。名という外側を覆うものの中身に何を入れるかが、焦点になっていると思われる。

3-3

次に、「という」の場合はどうかというと、表5に示すように、固定した結びつきがかなり見られます。その結びつきは、

今日という日

明日という日

今 という瞬間・時・時間

となります。

表5 「今日というY」(2曲以上)

	Y	使用曲数
今日 という	日	278
	一日	19
	時間	6
	日々	6
	記念日	5
	時	5
	今	4
	思い出	3
	一瞬	2
	奇跡	2
	瞬間	2
	はじまり	2
	道	2

表5 「今というY」(2曲以上)

	Y	使用曲数
今 という	瞬間	20
	時	19
	時間	15
	一瞬	4
	奇跡	3
	現実	3
	一秒	2
	未来	2
	連続	2

表5 「明日というY」(2曲以上)

	Y	使用曲数
明日 という	日	46
	未来	5
	字	4
	言葉	2

以下にYに続く・関わる動詞等のバリエーションに配慮して、「XというY」の固定した結びつきの実例を示します。

<君という光>

君のいない人生なんて ほんの少しも分からなくて Love
 いつもの帰り道一人 薄暗い闇に包まれて 私をそう 照らし出すの キミという光 手をつなぐ
 その手はいつでも全てを優しく包み込んで 連れて行ってよ 二人の場所へ

光 宇多田ヒカル

願いを口にしたいだけさ 家族にも紹介するよ きっとうまくいくよ どんな時だって ずっと二人で
 どんな時だって 側にいるから 君という光が私を見つける

愛の詩 瀬名

忘れないで空の青さ 川のせせらぎ この愛は 春を待ちわびたつぼみ 息づいてる想い芽吹かせて
君という光りを浴びて

<君という存在>

Bell コブクロ

今すべてを忘れることが できるなら このムネをさいて 君という存在を忘れることができるの
 だろうか？

思い出は… なついろ

いろんな思い出は私の中で 今も キラキラと 色鮮やかなままで キミという存在と出会えた

ことに すごく感謝しているよ 誰よりも愛してた

<愛という言葉>

組曲 遠くへ行ってみたいんだ 渡部陽一

口で言うのはかんたんだ 愛 文字で書くのもむずかしくない あい 気持ちはだれでも知っている 愛 悲しいくらい好きになること あい いつでもそばにいたいこと 愛 いつまでも生きてほしいと願うこと あい それは愛ということばじゃない 愛 それは気持ちだけでもない

風の坂道 小田和正

ありふれた今が 思い出に変わる 誰のものでも 誰の為でもない かけがえのないこの僕の人生 愛という言葉をはじめて語ってから

<今日という日>

Don't Give Up Yourself!! HAN-KUN

それって人生の損だぜ!! なら 飛んでけよ 飛んでけ 何もかも忘れて飛んでけ!! 明日の朝には消えてなくなる今日という日を今噛み締めて

Forever Love CLIFF EDGE

この広い世界、宇宙の中で たった一人の君を見つけた ずっとこれからもこの先も 隣に 隣に いるから 今日という日を胸に刻み続け 灯そう 永遠の光を

HAPPY BIRTHDAY FUNKY MONKEY BABYS

今から何年も前のちょうど今日という日に 君は元気いっぱい産声を上げた 世界中の誰もが思わず微笑むような そんな幸せに包まれた 内緒でサプライズするための選ぶプレゼント 君の喜ぶ顔を思い描きながら

I'm in Love? B'z

やみくもに前にばかり進めなくなる カレンダーがばらばらめくれていって いつしか興奮も冷めるだろう でももし今日という日でこの世界が 終わるとしたらみんなどうするの?

LOVE SONG 三代目J Soul Brothers from EXILE TRIBE

出逢った春の夜 生まれたあの恋は 僕らが触れ合うたびに 絆へと変わっていた そしてまた朝が来て… もしも君が今日という日を嘆いたのなら 僕は必ず 平気な顔で 君のためにうたっていよう

MY MORNING PRAYER 山下達郎

夜明けがまたたいている あなたを照らすために ちいさな思いがある あなたに届けるため 今日という日が 昨日より 少しでもやさしく あなたを包んでくれること祈って THIS IS MY PRAYER MY MORNING PRAYER

Hi-jump 白石涼子

でちゃうSmile 合言葉は こんちゃーっす！ 風に乗って 空越えて こんな深夜にハイテンション(ハイ) 今日という日は今日だけだよ もう始まってる 楽しまなきゃ(そんそん)

<明日という日>

命火 藤圭子

恋をして傷ついて 想うは母のこと 夕焼けのふるさとは まぶたを又よぎる いのちびよ 明日という日は 来るかしら

空時計 水樹奈々

見えないその傷跡が いつの日か 消えるようにと願うよ それでもね また明日という日は何も知らず朝を連れてくるから無理に笑おうとなんてしないで

いつの日にかきっと 山田純大

いつの日にか きっと会える たとえ今はひとり 沈んでいても あなたが 生きていますと ただそれだけで 明日という日を忘れない 月もなく 凍りついた夜に 心の中に灯をともして

<今という瞬間>

夏色タイム スガシカオ

ほくらが今立っている 二度とない瞬間 この光 この日差し 君にはどう映った？ ほくらがほら感じている 今という瞬間この気持ち このまま 誰にも渡したくない

もっと君を... HOME MADE 家族

もっと 側にいたいよ もっと 声聞きたいよ もっと 君を知りたいよ この先もずっと 今というこの瞬間も 失ってからじゃ遅いんだ だからもっともっと 君への愛を捧ぐよ

REFLECT The Sketchbook

もう一度見上げた空に 手を伸ばして掴もうとした 諦めること忘れた今なら 届きそうで宛のない想いが いつかカタチに変わるとき 初めて今という瞬間に 意味が生まれるんだろう

3-4

さて、固定した結びつき「今日という日」に比喩性があるでしょうか？

「君という光」のようなはっきりした比喩性はありませんが、それでも「今日」と「日」を対比させているところに比喩性がある、あるいは痕跡があると考えられます。

既に引用した例にも見られるように、「今日」にはいろいろなイベントや思いが盛り込まれています。しかしこのよいことも悪いことも中身につまった時間が、別の客観的な基準だと「日」「1日」に過ぎないわけです。{… 昨日、今日、明日、…} という話し手から見た、ダイクシシ的時間の系列を、どれをとっても等質な「日」(つまり {…、日、日、日、…} という系列)としても把握していることを示していると考えられるのです。この指標比喩の形式においては、ある集合に配属させるより、どの系に配列するかという思考が働いているわけです。

たとえば、

MIRROR GLAY

もしも今でも約束の丘 あの風が吹いてるなら Hello… 今日という日が 明日という日が裏切りばかりの毎日でも 今日という日が 明日という日が心殺すだけの毎日でも 今日という日が 明日という日が絶望ばかりの毎日でも こぼれそうなあの笑顔を探している

とあるように、「裏切り」「絶望」に満ちた「今日」「明日」でも、それは毎日の「日」に相当するわけです。「明日という日」「今という瞬間」なども同じような対比を示しており、比喩性を残していると見なせます。

典型例からだけという条件付きですが、「具体・という・抽象あるいは範疇」とは違って、「境遇性・という・Y」において、境遇性の指示対象が一定しない点を活かして、比喩が思いつきやすいのだと考えられます。

「君という光」においても、一見「具体・という・抽象または範疇」という構造にも見えますが、比喩性は、ダイクシスの「…わたし、僕、君、あなた…」という系列から、「輝く」「照らす」などの働きを仲立ちに、「光」の系列に組み込まれていると考えられるのではないのでしょうか。少なくとも「光」はそれほど抽象的とは考えられません。

まとめ

以上、歌詞に見られる指標比喩の複合辞「という」「という名の」の実態調査から、語を受ける「XというY」「Xという名のY」について報告と分析を行ってきました。比喩を担うことばとして「という」を捉えた場合、

- ①「という名の」と比べて、自由に比喩を作り出しているものではないこと。「今日という日」「君という光」に代表される、固定した結びつきが見られること。
- ②基本的な意味構造「具体・という・抽象または範疇」と比べた場合、境遇性のあることばがXの位置に来たときに比喩が生まれやすい可能性があること。
- ③「名」を介在することで比喩が多産できること。それは「具体」「抽象」「部分集合」といった把握では解しにくいこと。

この3点を指摘しました。

「という」の働きについて、先行研究では、「事自体を純粹客観的に表現する」（石垣1945）「Xを捉え直す」（丹羽1993）「話し手による位置付けの態度表明」（太田2000）「引用部の言葉を認識の対象として改めて捉え直す」（太田2000）「世界を新しく整理する行為」（多門2014）というように、言語主体の何らかの行いが「という」にある、と表現しています。

本稿が補足するのは、そこには、対象を、記号として形（シニフィアン）と中身（シニフィエ）に分け、その中身を空洞化したときに、「という」が使えるという働きがあることです。「完璧さ」ということばを形と中身に分け、その空洞部分に悪徳として他者が判断できる要素がある、と考えることもできるわけです。この働きは藤田2000の「モノとしてのコトバ」の引用と

も関係があるかと考えます。あるいは時代が記号的に物事を見るようになり、「という名の」表現が勢力を伸ばしてきたのかもしれませんが。しかしこれらは宿題として、さらに考察を加えなければなりません。

注・文献

- 1) 「複合辞」とは「いくつかの語が一まとまりになって、その一まとまりが固有の「付属語」(辞)的な意味を担うものとして用いられる形式」(国立国語研究所(山崎誠・藤田保幸)2001、p.1)のこと。「という」の場合だと、「いう」の部分の「言う」の意味が薄れて「という」が一語化したものになります。
- 2) 「指標比喩」とは、「まるで」「のような」など、比喩の目印として、特定の言語形式が現れている表現のことです。この用語は、国立国語研究所(中村明)(1977)で使われているものです。いわゆる「明喩」とほぼ等しいと言えますが、「隠喩」ということばが「比喩」全体を意味する文献も見られますので、役割のはっきりしているこの用語を採りました。
- 3) 用例集としては、森田良行・松木正恵(1989)、国立国語研究所(山崎誠・藤田保幸)(2001)があげられます。
- 4) はやく国立国語研究所(中村明)(1977)において、指標比喩である接尾辞相当の一群として「という」「という名の」があげられています(p.452)。ただし、この分類において、「といた」を「という」の実現形である、つまり一種の異形とみなしていますが、「といた」には、「という」にはない「幅を持たせる」意味があるので、この考えは採りません。
- 5) 石垣謙二(1945)は、和辻哲郎(1935)「日本語と哲学の問題」(『続日本精神史研究』岩波書店、pp.385-461)に対する国語学の立場からの反論ですが、そのなかで、早く「といふ」が動作ではなく状態表現(「である」に近い)ことを指摘しています。
- 6) 特にp.490。
- 7) 特にpp.104-106。
- 8) 国立国語研究所(中村明)(1977)では、50編の文学作品(主に散文)から約2万の比喩用例カードを作成していますが、「という」の用例数については、他の異形態(「といた」など)も含めて、8作品で53例となっており、「という名の」はわずか1作品に1例のみです。小説もいわゆる明治からの近代・現代文学です。後述するように、歌詞においては、「という」・「という名の」の比喩の用例を1000例以上採集できました。
- 9) 欠点は1960年前後やそれ以前の歌詞については悉皆的とは言えない点が見られることです。しかし、現代語の調査においては支障ないでしょう。
- 10) 具体的には「という呼び名の」「という名をもつ」「という名をした」「という名前の」です。
- 11) 用例が歌詞ですので、リフレインに「という」が含まれると、くり返す分だけ用例数が増えることになります。したがって曲数を単位とし、リフレイン部分の「という」「という名の」についてはすべて一カ所として計算しています。

石垣謙二(1945)「あるといふことはどういふことであるか」『文学』昭和20年11月号(『助詞の歴史的研究』岩波書店所収の本文pp.239-254を参考にしました)

太田陽子(2000)「「トイウ」を用いた連体修飾表現について」『東京大学留学生センター紀要』10、pp.53-85

金水 敏(1986)「名詞の指示について」築島博士還暦記念会編『築島裕博士還暦記念 国語学論集』明治書院、pp.467-490

- 国立国語研究所（中村 明）（1977）『比喩表現の理論と分類』秀英出版（本稿では翌年発行の再版本を参考にしました）
- 国立国語研究所（山崎誠・藤田保幸）（2001）『現代語複合辞用例集』国立国語研究所
- 多門靖容（2004）「比喩と連体修飾 ―メンバ、カテゴリと存在―」『日本語学』23-3、pp.40-49
- 多門靖容（2005）「ケース20 隠喩」多門靖容・半沢幹一編『ケーススタディ 日本語の表現』おうふう、pp.120-125
- 多門靖容（2014）『比喩論』風間書房
- 丹羽哲也（1993）「引用を表す連体複合辞「トイウ」」『人文研究（大阪市立大学文学部紀要）』45、pp.25-60
- 藤田保幸（2000）『国語引用構文の研究』和泉書院
- 益岡隆志（2002）「複文各論」野田尚史・益岡隆志・佐久間まゆみ・田窪行則『日本語文法4 複文と談話』岩波書店、pp.63-116
- 森田良行・松木正恵（1989）『日本語表現文型』アルク

参考サイト

「うたネット」<http://www.uta-net.com>